

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【公開番号】特開2012-55356(P2012-55356A)

【公開日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2010-198595(P2010-198595)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月4日(2013.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者により操作され、その操作量に応じて遊技内容を変化させるための操作手段を備え、該操作手段は、遊技者の操作により初期位置と操作位置との間を移動し得る可動部と、該可動部を初期位置側へ付勢する付勢手段とを有する遊技機であって、

前記可動部を初期位置から操作位置側へ移動させていくにつれて、該可動部を初期位置に戻す方向に働く力の増大を軽減させる減殺機構を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記可動部が支点を中心に回動する構成を有し、
前記可動部を初期位置から操作位置側へ回動させていくにつれて、前記付勢手段による付勢力の方向が、該可動部を初期位置に戻す回転力の方向から次第に離隔していくよう、該付勢手段を前記操作手段に配設することにより前記減殺機構が構成されていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記操作手段が、基軸部に前記可動部が回動可能に支持された構成を有し、
前記付勢手段が、前記基軸部および前記可動部に両端をそれぞれ支持された弾性体で構成されていることを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記弾性体がねじりコイルばねで構成され、該ねじりコイルばねが、そのコイル中心が前記可動部の回動軸から外れた状態で配設されていることを特徴とする請求項3に記載の遊技機。